

ガス小型湯沸器 取扱説明書

先止め式

商品コード

133-9109型

ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガス小型湯沸器をお買い上げいただき、ありがとうございます。

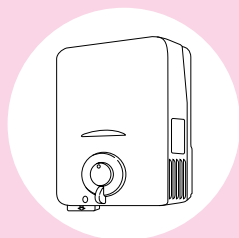
安全に使用していただくために、本機器を使用する前にこの取扱説明書をよく読み、十分に理解したうえで使用してください。

この取扱説明書は、いつでも使用できるように大切に保管し、使用方法がわからないときにお読みください。

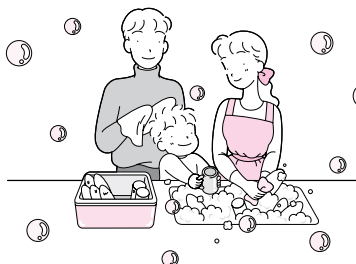
別添の保証書は、記載してあるお買上げ日、販売店名、保証内容などをよく確認し、大切に保管してください。

来客者などが機器を使用するときは、その前に必ず取扱説明書の内容を説明してください。

本書を紛失された場合や、ご不明な点があればお買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスにお問い合わせください。



型式名 YS534



1. 使用前に

- 各部のなまえ ……………1
- 特に注意していただきたいこと 2～6

2. 使いかた

- 初めて使うとき ……………7～8
- お湯の出しかた・止めかた ……9
- 水の出しかた・止めかた ……10
- 凍結予防のしかた ……………11

3. 点検・お手入れ、他

- 点検・お手入れ ……………12
- 故障かな?と思ったら ……13
- 安全装置のはたらき ……14
- アフターサービス ……15
- 仕様・外形寸法図 ……16

4. 設置工事説明編

- 設置工事説明編(工事をされる方のために)
……………17～22

保証書 ……………裏表紙

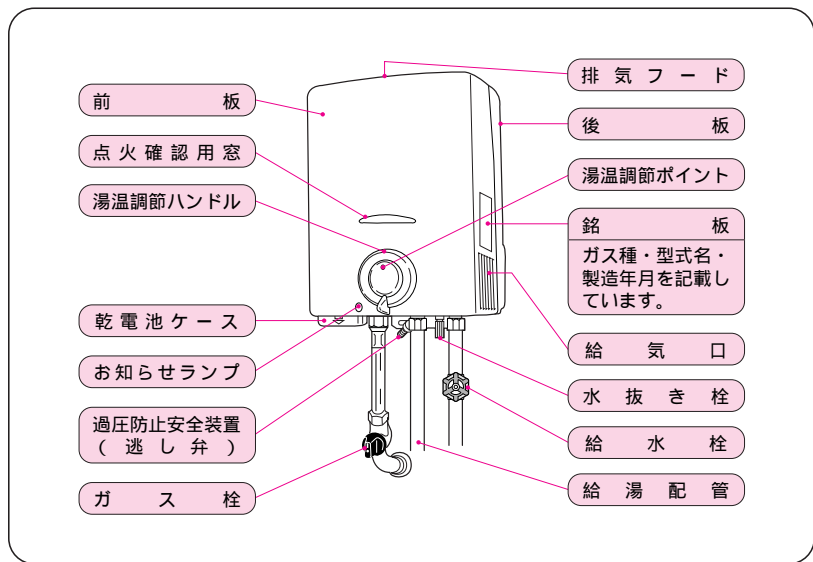
使用前に

使いかた

点検・お手入れ、他

設置工事説明編

1 使用前に 各部のなまえ



特長

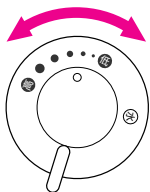
●安全装置が付いています (詳しくはP15をご覧ください。)

6つの安全装置がついとうっかりや、「あっ!」と思ったときなどに働きます。

- ・立ち消え安全装置
- ・過熱防止装置 (温度ヒューズ)
- ・過圧防止安全装置 (逃し弁)
- ・不完全燃焼防止装置
- ・消し忘れ防止装置
- ・残火安全装置 (パイメタルスイッチ)

●水道栓として使えます

お湯・水の切り替えがワンタッチでOK!



1 使用前に 特に注意していただきたいこと

安全に正しく使用していただくために必ずお読みください。

ここに示した注意事項と絵表示は機器を正しく安全に使用していただき、お客様や他の人々への危険や、財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

誤った取り扱いにより生じる危害・損害の程度をつぎの四つに区分しています。

危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険または、火災が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性または、火災が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
お願い	危険・警告・注意の項目以外で特に守っていただきたい内容を示しています。

ここでの「人」とは、使用者のみでなく、その家族・来客者・機器を譲渡された人も含みます。危険・警告・注意・お願い表示に於いて、守らなかった場合に起こりうる現象を薄めの文字で表記しています。(例: 火災のおそれがあります。)

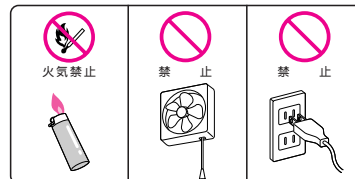


危険

ガス漏れ時の処置について

ガス漏れに気付いたときは、右記①～③の処置を行う。また、絶対に火をつけたり、電気器具(換気扇など)のスイッチの「入・切」や電源プラグの抜き差しおよび、周辺の電話を使用しない。

火や火花で引火し、爆発事故を起こすおそれがあります。



①すぐに使用をやめ、ガス栓を閉じる。



閉じる

②ガスを外に出す。(窓や戸を開ける。)



ガスを外に出す

③販売店または、もよりの大阪ガスに連絡する。



連絡する

周辺の電話は使用しないでください。

1 使用前に 特に注意していただきたいこと

警告

- 使用中は窓を開けたり、換気扇を回すなど換気を行う。
- 閉めきった室内で使用しない。特に冷暖房中は注意してください。
- 換気してもなお、使用中に異常燃焼、異常音、異臭などを感じた場合や途中消火が起こったり、安全装置が作動したときはただちに使用を中止し、ガス栓を閉じ、販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。

一酸化炭素中毒のおそれがあります。

- 機器の設置・移転および付帯工事は、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに依頼し、安全な位置に正しく設置する。
- コンロ・レンジなどの直上、強い風の吹き込む場所(網戸の近くなど)には設置しない。安全装置が作動し、消火する場合や思わぬ事故の原因になります。

- 火をつけたまま離れたり、外出・就寝しない。火災・一酸化炭素中毒のおそれや思わぬ事故の原因になります。

- 必ず銘板(機器の右側面に貼付)に表示しているガス(ガスグループ)を使用する。

火災・不完全燃焼・爆発点火のおそれや機器の故障の原因になります。

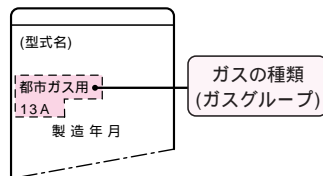
- 転居された場合も、供給ガスの種類が銘板の表示と一致していることを確認してください。ガスの種類には都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスにはガスグループの区分があります。

わからない場合やご不明な点があればお買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。



確認

銘板 (例) 都市ガス用 13Aの場合



ガスの種類 (ガスグループ)

- 機器にエアコンなどの風を直接当てない。

爆発点火や炎あふれの原因となり、機器の周囲に燃えやすいものがある場合、引火するおそれがあります。

機器の周囲には絶対に燃えやすいものを置かないでください。

安全装置が作動し、消火する場合もあります。

- 引火性の危険物(ガソリン・灯油・ベンジン・接着剤など)を機器の周囲で保管したり、取り扱う室内には設置しない。

火災のおそれがあります。

- 機器の周囲にスプレー缶を置かない。

熱でスプレー缶の圧力が上がり爆発するおそれがあります。



禁止



- 機器を設置した後の機器周囲の改装(吊り戸棚を取り付けるなど)については、お買い求めの販売店に相談する。

火災のおそれや設置基準上問題になるおそれがあります。

特に注意していただきたいこと

警告

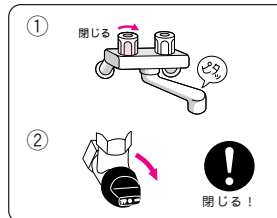
- 使用中に地震、火災などが発生した場合は次の手順に従ってあわてずすみやかに処置する。

①給湯栓を閉じ、消火する。



②ガス栓を閉じる。

- 再使用するときは、7ページからの『使いかた』の手順に従って操作する。わからない場合はお買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡する。



- 機器の上や周囲に燃えやすいもの(新聞紙、ティッシュ、カーテン、ふきんなど)を近づけない。

火災のおそれがあります。



発火注意



- 熱湯を使用した後は、湯温調節ハンドルを「低」の位置くらいまで戻す。
- 蒸気が激しく出る状態のときは、湯温調節ハンドルを蒸気の出ない位置まで戻して使用する。小さなお子さまのいるご家庭では、湯温調節ハンドルを「水」の位置まで戻してください。

やけどのおそれがあります。



- 使用中、水圧の変化でお湯の温度が変わることがあるため、お湯の温度には十分注意して使用する。
- お湯を一度止めて再び使用するときは、はじめに熱いお湯が出ることもあるため、十分注意して使用する。



やけどのおそれがあります。

- 蒸気が激しく出るような状態では使用しない。湯温調節ハンドルを蒸気の出ない位置まで戻して使用してください。

やけどのおそれがあります。

- 使用中、使用直後は排気口やのぞき窓周辺が高温になっているため、操作部以外は手を触れない。

やけどのおそれがあります。



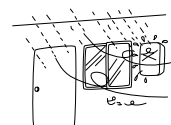
接触禁止



- 屋内用機器のため、屋外には絶対に設置しない。風による火災や故障の原因になります。



禁止



- 小さなお子さまだけで使用させない。

やけどのおそれがあります。

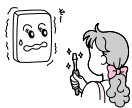
1 使用前に 特に注意していただきたいこと

⚠ 注意

- 機器の分解は絶対にしない。
やけど・けが、故障の原因になります。



分解禁止



- 給湯ホース接続は絶対にしない。
やけどや機器損傷のおそれがあります。



禁止



- 機器の排気口周辺に加熱されて困るもの(耐熱性の低い樹脂製品、照明器具など)を置かない。
照明器具などが変形したり、変色したりします。

- 凍結予防の水抜きは機器が冷めてから行う。
高温のお湯が出て、やけどのおそれがあります。

- お湯を使用すること以外の用途に使用しない。
- おふろへの給湯など、長時間連続の給湯は絶対にしない。
一酸化炭素中毒のおそれがあります。



禁止



- お手入れは、手袋などで指先を保護し、機器が十分冷えてから行う。

お手入れ方法は、12ページの『点検・お手入れ』を参照してください。

- 機器の中や機器と壁とのすきまに手や棒などをいれない。

やけど・けが、故障の原因になります。

お願い

乾電池の交換について

- 乾電池の⊕、⊖の方向を間違えないでください。
機器を使用できなくなります。
- 新旧、異種の乾電池を混ぜて使用しないでください。
破裂や液漏れの原因になります。
- 乾電池は長寿命のアルカリ乾電池をおすすめします。
- 通水したままで乾電池を交換しないでください。

ガス事故防止のために

- 使用時の点火、および使用後の消火を必ず確かめてください。
- 使用中も正常に燃焼していることを確かめてください。
- 外出や就寝の際には消火を確かめ、ガス柱を必ず閉じてください。



閉じる

特に注意していただきたいこと

お願い

- 本機器は家庭用です。

業務用のような使用頻度の高い使いかたをする
と著しく寿命が短くなります。この場合の修理
は有料となります。

凍結予防と凍結時

- 外気温が低い場合は、必ず凍結予防を行ってください。
凍結予防方法は11ページの『凍結予防のしかた』を参照してください。
- 万一、凍結した時は解凍するまで使用できません。
解凍後は、機器や配管の水漏れがないことを確認してから使用してください。

窓を開けてお使いになるとき

- 風通しのよい部屋で機器が使われるときは、機器に強い風が当たると不完全燃焼をおこし、安全装置が作動することがあります。とくに窓ぎわに設置されている場合、機器に直接風を当てないよう窓の開け方に注意してください。

長期間使用しない場合は

- ガス栓・給水栓を閉じてください。
- 11ページの『凍結予防のしかた』に従い水抜きを行ってください。
- 各部の汚れを取り除いてください。
- 乾電池を乾電池ケースから抜いてください。

乾電池の液漏れにより、機器をいためる原因になります。

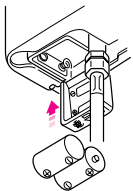
補助具について

- この機器専用の付属品あるいは、別売品以外は使用しないでください。(乾電池は除く)
- 市販されている補助具などは使用しないでください。
思わぬ事故や故障の原因になります。

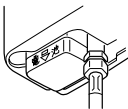
2 使いかた 初めて使うとき

初めて使うときは、次の準備が必要です。
次の手順で行ってください。

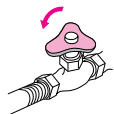
- 1 左下部の乾電池ケースふたを押し下げて、乾電池を取り付けます。



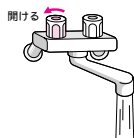
- 乾電池（単1形、1.5V、2個）を取り付け、元どおりに乾電池ケースふたを閉じます。



- 2 給水栓を開けます。

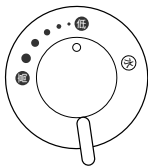


- 3 給湯栓を全開にし、水が出ることを確認します。



- お知らせランプが点灯します。
- 確認したら給湯栓を閉じて水を止めます。

- 4 湯温調節ハンドルを「低」の位置に合わせます。



- 5 ガス栓を全開にします。



初めて使うとき

お願い

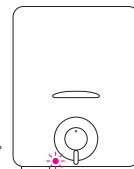
乾電池について

- 乾電池を入れるときは、 \oplus \ominus の方向に注意してください。（奥の乾電池は右側が \oplus 、手前の乾電池は左側が \oplus です。）
 \oplus \ominus を逆にして入れると、機器を使用できません。
- 通水したままで乾電池を入れないでください。
- 乾電池の交換は2個とも新しい同種のものにしてください。（長寿命のアルカリ乾電池をおすすめします。）
新旧、異種の乾電池を使用すると乾電池が破裂したり、液漏れする原因となります。

お知らせランプについて

出湯操作時にお知らせランプが点灯または点滅すれば、次の原因が考えられます。参照ページに従って処置してください。

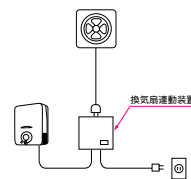
- ①安全装置が作動したとき（点滅）
ただちに使用を中止しガス栓を閉じ、販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。
- ②乾電池の交換が必要とき。（点灯）
P7「初めて使うとき」
- ③ガス栓が閉まっているとき（点灯）
P7「初めて使うとき」
- ④消し忘れ防止装置が作動したとき（点灯）
P9「お湯の出しかた・止めかた」
P14「安全装置のはたらき」
- ⑤過熱防止装置（温度ヒューズ）または、残火安全装置（バイメタルスイッチ）が作動したとき（点灯）
P14「安全装置のはたらき」



お知らせランプ

換気扇連動装置の使いかた（別売品）

換気扇連動装置を使用すると、機器の通水に連動して換気扇が回り、室内を換気します。
換気扇連動装置は別売品ですので、お買い求めの販売店に相談してください。



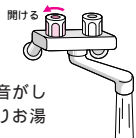
1. 換気扇連動装置の電源プラグをコンセントに差し込みます。
2. 給湯栓を全開にします。
3. 機器と連動して換気扇が回ります。

2 使いかた お湯の出しかた・止めかた

次の手順で行ってください。

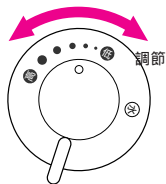
1 給湯栓を全開にします。

- パチパチとスパーク音がして点火し、給湯栓よりお湯が出ます。



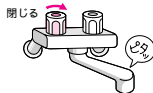
- 配管内に空気が入っていて点火しにくいときは、空気が抜けるまで、点火操作を繰り返してください。
- 点火してから約20分で機器は自動消火します。(水は止まりません。)(消し忘れ防止装置)

2 湯温調節ハンドルの「低」～「高」の間で湯温を調節します。



3 給湯栓を閉じます。

- お湯が止まります。



- 使用後は必ず、点火確認窓で消火を確かめガス栓を閉じてください。

お願い

- ガス栓・給水栓を操作しての点火・消火は、絶対にしないでください。

警告

やけどに注意



- お湯を一度止めて、再び使用するときは、はじめに熱いお湯が出ることがありますので、少し待ってから使用してください。
- 蒸気が激しく出るような状態で使用しないでください。蒸気の出ない位置まで湯温調節ハンドルをもどしてください。
- 高温・熱湯のとき、シャワー出湯はしないでください。
- 使用後、小さなお子さまのいる家庭では、湯温調節ハンドルを「水」の位置にしてください。

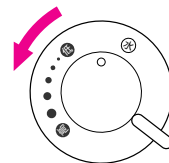
ワンポイントアドバイス

- 給湯配管が長い場合は、お湯が出てくるまで時間がかかります。
- お湯が白くにごって見えることがあります。蒸気が混ざったもので異常ではありません。

2 使いかた 水の出しかた・止めかた

次の手順で行ってください。

1 湯温調節ハンドルを「水」にします。



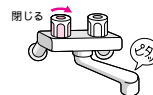
- 左に回すと水量が少なくなります。

2 給湯栓全開にします。



- 給湯栓より水が出ます。

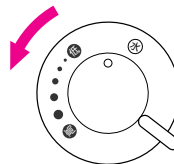
3 使用後給湯栓を閉じます。



- 水が止まります。

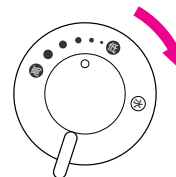
お湯から水への切替

使用中、湯温調節ハンドルを「水」の位置に合わせると自動的に消火して水に切り替わります。



水からお湯への切替

使用中、湯温調節ハンドルを「低」～「高」の位置に合わせると自動的に点火してお湯に切り替わります。



2 使いかた 凍結予防のしかた

- 冬期は、寒冷地だけでなく暖かい地方でも、急な寒波による凍結のために機器内や配管内の水が凍結し、破損することがあります。破損した場合、高額な修理費用がかかります。(有料)
- 冷え込みが厳しく凍結のおそれがあるときは、次の予防措置1または2を行ってください。

予防措置1 (機器内の水を抜く方法)

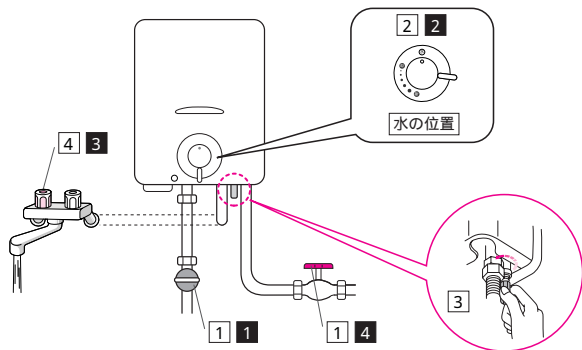
- 1 ガス栓・給湯栓を閉じる
- 2 湯温調節ハンドルを「水」位置の最大水量に合わせる。
- 3 水抜き栓をはずす
- 4 給湯栓を全開にする。

再びご使用になるときは、水抜き栓をしっかり閉じて、7ページの「初めて使うとき」に従って、お使いください。

予防措置2 (水を流しっ放しにする方法)

- 1 ガス栓を閉じる
- 2 湯温調節ハンドルを「水」位置の最大水量に合わせる。
- 3 給湯栓を全開にする。
- 4 給湯栓を少しずつ閉じる。

水量が1分間に牛乳ビン1本(200cc)程度(特に寒い日は、それ以上)流れるようにしてください。
水量が不安定なことがありますので、30分後にもう一度確認してください。



凍結したときの処置

- 凍結したときは、とけるのを待ってから10ページの「水の出しかた・止めかた」により
- ①水の出ること
 - ②水漏れのないこと
 - ③作動に異常のないことを確かめてからお使いください。

3 点検・お手入れ、他 点検・お手入れ

点 検

点検項目	点検のしかた	処置
乾電池は？	給湯栓を開いても点火せず、給湯栓を開いた直後にお知らせランプが点灯していませんか。 乾電池の寿命はおよそ1年が目安です。	お知らせランプが点灯している場合は、新しい乾電池を2個同時に交換してください。 (8ページ参照)
水フィルターの詰まりは？	お湯または水の出かたが悪くなっていませんか。	お手入れのしかたをご覧ください。
排気口部分は？	白い粉やススなどで汚れたり、使用時に不快なおいがしていませんか。	お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに点検・修理を依頼してください。(有料)
燃焼機能は？	メインバーナー：炎の先端が黄色になって燃焼していませんか。	

定期点検のおすすめ

ご使用上支障がない場合でも、安全により長く、使用していただくために、2~3年に1回程度の定期点検をおすすめします。(有料)
詳しくは、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。

お 手 入 れ

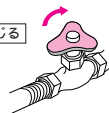
ガス栓を閉じ機器が冷えてから行ってください。 けがをしないよう手袋などをして行ってください。
お手入れが必要な所以外は絶対に分解しないでください。

お手入れ箇所	お手入れのしかた
●前板 ●後板 ●排気フード	やわらかい布に台所用中性洗剤を付けてふき取ってください。 ●金属タワシ、スポンジタワシ、ミガキ粉、シンナーなどは表面の光沢や印刷文字が消えたり、機器にキズがついたりする原因になりますのでご使用にならないでください。 ●後板と壁の間に指を直接入れないでください。
●水フィルター	水フィルターのそうじを行ってください。

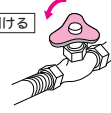
水フィルターのそうじ

- 1 給水栓を閉じる。
- 2 給水管を外し、水フィルターを引き出し、そうじする。
- 3 水フィルターを差し込み、給水管を取り付ける。
- 4 給水栓を開ける。

閉じる



開ける



水漏れのないことを確認してください。

3 点検・お手入れ、他 故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に、次のことを確認してください。

- 故障かな?と思ったらだちに使うのをやめて、まず次のことをお調べください。
- 故障かな?と思ってもよく調べると故障でない場合があります。
- 調べてもわからないときはだちに使うのをやめて販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。

こんなとき	原因	参照ページ
ガスの臭いがする いやな臭いがする	<p>だちに使うのをやめ、ガス栓を開けてから原因を調べてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●周囲に燃えやすいものやプラスチック製品などありませんか? ●以上、調べてもわからないときはだちに使うのをやめて販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。 <p>—酸欠炭素中毒のおそれがあります。</p>	4 -
黄炎で燃える 炎が安定しない	<ul style="list-style-type: none"> ●換気は十分にされていますか? 	3
異常音をたてて燃える	<ul style="list-style-type: none"> ●給水栓が全開になっていますか? 	7
点火しない 点火しにくい 消火する	<ul style="list-style-type: none"> ●ガス栓が全開になっていますか? ●乾電池が消耗していませんか? ●給湯栓を全開にしていますか? ●以上、調べてもわからないときはだちに使うのをやめて販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。 <p>—酸欠炭素中毒のおそれがあります。</p>	7 12 9 -
使用中、火が消える	<ul style="list-style-type: none"> ●点火してから20分以上たっていますか? ●20分以上たっていないのに火が消えた場合又は水圧低下時、消火した場合は販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。 <p>—酸欠炭素中毒のおそれがあります。</p>	9 -
お湯の出が悪い	<ul style="list-style-type: none"> ●給水栓が全開になっていますか? ●給水栓接続口内部にあるフィルターのゴミ詰まりが原因と考えられます。お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに相談してください。 	7 12
熱湯にすると、お湯が 白くなることもある。	水には空気が含まれていて、加熱すると気泡となってあらわれるため、異常ではありません。	-
点火してもしばらく、 パチパチと音がする。	点火を確実にするため点火しても2~3秒パチパチしつづけます。	-
高温あるいは熱湯に設 定して使用すると「シ ャー」という音がする。	お湯が沸く音で異常ではありません。	-
出湯停止後、「チリ、チ リ」という音がする。	熱による膨張・収縮音で異常ではありません。	-
給湯栓を開けたとき 「ポッ」という音がする。	点火音で異常ではありません。	-
お知らせランプが点灯 する。	出湯操作時にお知らせランプが点灯するときは、下記のいずれかの原因です。 ①乾電池の交換が必要とき。 ②ガス栓が閉じているとき	8 7
お知らせランプが点滅 する。	お知らせランプが点滅した場合は安全装置が作動しています。だちに使うのをやめて販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。	-

3 点検・お手入れ、他 安全装置のはたらき

この機器には、次のような安全装置が付いています。(風の影響で作動することもあります。)

安全装置	はたらき
立消え安全装置	万一、バーナーの炎が消えたとき、この安全装置が働いて、自動的にガスを遮断します。
不完全燃焼防止装置	部屋の換気不足や熱交換器の詰まりなどにより不完全燃焼となる前に、この装置が働いて、自動的にガスを遮断します。
過熱防止装置 (温度ヒューズ)	使用中、機器内の温度が異常に高くなったとき、この安全装置が働いて、自動的にガスを遮断します。
消し忘れ防止装置	「つい、うっかり消し忘れた場合、約20分後に自動的に消火します。(水は止まりません。)
過圧防止安全装置 (逃し弁)	給湯栓を閉じた直後に熱交換器の予熱により熱交換器の圧力が高くなり、過圧防止安全装置(逃し弁)が作動して水がポタポタ出ることがありますが、機器の故障ではありません。床面を濡らすような不都合が生じる場合は、過圧防止安全装置(逃し弁)の排水処理が必要です。お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。
残火安全装置 (バイメタルスイッチ)	万一、バーナーの火が消えずに湯温が異常温度上昇したときは、ガスを自動的に停止します。

安全装置が作動したときの処置方法

- ①お知らせランプが点滅する場合は、安全装置が作動していますのでだちに使うのをやめて販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。
 - ②お知らせランプが点灯したらすぐに給湯栓を閉じ消火・出湯停止処置をし、電池が消耗していないか、またはガス栓が閉じていないか確認してください。
 - ③20分以上使用していた場合は消し忘れ防止装置が作動しています。戸や窓を開けて換気し、しばらく(10分くらい)待ってから点火・出湯操作をしてください。
- 酸欠炭素中毒のおそれがあります。

- 以上のことをお調べになっても、なお異常のあるときやおわかりにならないときには、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。不完全な処置や異常がある状態で使い続けると事故のもとになります。

3 点検・お手入れ、他 アフターサービス

サービスのお申し込み

- 13ページの「故障かな?と思ったら」を見てもう一度確認してください。
- 確認のうえ、それでも不都合な場合、あるいはご不明な場合は、ご自分で修理しないで買い求めの販売店、大阪ガスまたは、別紙のお問い合わせ先へ連絡してください。
なお、連絡されるときは、下記のことをお知らせください。

1. 品名 ガス小型湯沸器
2. 商品コード 133-9109型(機器右側面に貼付の銘板をご覧ください。)
3. 故障または異常の内容(できるだけ詳しく)
4. ご住所・お名前・電話番号・道順(できるだけ詳しく)

転居される場合

ガスには都市ガス(数種類)およびLPガスの区分があります。

- ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので転居先のガスの種類をご確認のうえ、買い求めの販売店または、転居先のガス事業者に連絡してください。この場合、調整・改造に要する費用は保証期間中でも有料となります。
- ガスの種類によっては調整・改造できない場合もあります。

保証書

取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。

- 保証書に記載されているように、機器の故障については、一定期間・一定条件のもとに修理いたします。
保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、大切に保管してください。
- 無料修理期間経過後の修理については、買い求めの販売店または、もよりの大阪ガス(別紙お問い合わせ先一覧表)に相談してください。
修理によって性能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間

- この製品の修理用性能部品(機能を維持するための必要な部品)の最低保有期間は、製造打ち切り後7年間で、
但し、最低保有期間経過後であっても修理用性能部品の在庫がある場合、有料修理いたします。

3 点検・お手入れ、他 仕様・外形寸法図

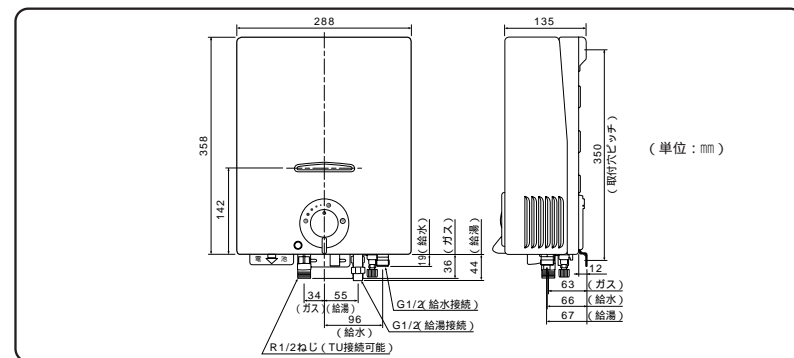
仕様

品名	ガス小型湯沸器		
品名コード	133-9109型		
型式名	YS534		
種類	給(出)湯方式	先止め式	
	給排気方式	開放式	
点火方式	連続スパーク		
最低作動水圧	34.3kPa (0.35kgf/cm ²)		
使用水圧	49.1 - 687kPa (0.5 - 7.0kgf/cm ²)		
排気温度	260℃以下		
外形寸法	高さ358mm×幅288mm×奥行135mm		
質量(本体)	5.7kg		
	給水	15A (G1/2)	
接続ガス	給湯	15A (G1/2)	
	給気	R1/2ねじ (TU接続可能)	
安全装置	立消え安全装置・不完全燃焼防止装置・過熱防止装置・消し忘れ防止装置・過圧防止安全装置・残火安全装置		
付属部品	木ねじ(3本)・乾電池(単1×2本)・過圧逃し弁排水用チューブ・止め輪		

ガスの種類 および グループ	1時間当りのガス消費量 (kW)	出湯能力ℓ/分(ガス消費量最大時)		
		最大	25℃上昇	40℃上昇
都市ガス	13 A	11.0 { 9,500kcal/h }	(5.1)	3.2
LPガス	ス	11.2 { 0.80kg/h }	(5.1)	3.2

備考 ● 出湯能力は給水圧力98.1kPa(1kgf/cm²)のとき。
● ガスはJISに規定する標準ガス、標準圧力のとき。
● 出湯能力の()内は、計算値です。実際に25℃上昇させると湯温調節ハンドルによりガス量が絞られるため、出湯量は若干少なくなります。

外形寸法図



4 設置工事説明編(工事をされる方のために)

重要

- この「設置工事説明編」は、誤った設置工事による事故を未然に防ぐため、工事者または人の安全に関する重大な注意事項をマークを付けて表示しています。マークの意味は次の通りです。

表示	意味
	この表示を無視して誤った取り扱いをした場合に工事者またはその設置工事後の製品の不具合によって、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
	この表示を無視して誤った取り扱いをした場合に工事者またはその設置工事後の製品の不具合によって、人が傷害を負う危険が想定される場合または物的損害のみの発生が想定される内容を示します。
	この表示は製品の性能および安全・快適に使うため、是非守って設置工事をしていただきたい事柄を示しています。

ここで「人」とは、使用者のみでなく、その家族・来客者・機器を譲渡された人も含みます。危険・警告・注意表示に於いて、守らなかった場合に起こりうる現象を簡明な文字で表記しています。(例：火災のおそれがあります。)

上記に述べる言葉の意味は、それぞれつぎのようなものをいいます。

重傷：失明・けが・やけど(高温・低温)・骨折・中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院、長期の通院を要するものを示します。

傷害：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど(高温・低温)などを示します。

物的損害：家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

人：本機器の使用者を想定しています。ただし、使用者は、購入者だけでなく、その家族・来客者・購入者から機器を譲渡された人なども含みます。

下に示す記号は、注意を促すためのものです。記号には次のような意味があります。



必ず
行う



一般的
な禁止
事項



発火
注意

警告

1. 設置工事は専門の資格者が行う。

この機器の設置工事及び施工にあたっては、ガス事業法、液化石油ガスおよびこの「設置工事説明編」と「ガス機器の設置基準及び実務指針(日本ガス機器検査協会刊)」に従って工事を行う。

2. 工事をされる方へのお願い

いつも当社製品をご利用いただき、まことにありがとうございます。この機器を正しく安全に使用していただくために、この「設置工事説明編」をよくお読みいただき、正しく工事をしてください。この「設置工事説明編」に記載されている以外の設置が原因で生じた故障および、損傷・人身事故は、工事者の責任となります。また保証期間内でも保証の対象となりませんので注意してください。

- 機器の設置工事は必ずお買い上げの販売店またはもよりのガス事業者に依頼し、有資格者による正しい工事を行う。
- 燃焼機器を設置する場所は、建築基準法や火災予防条例また、当該地区の市・町・村などの火災予防条例に従う。
- この機器は日本国内向けであり、海外での設置及び使用はしない。
(You can use this equipment only in Japan.)
- 設置工事完了後は、必ず「設置工事後の点検(チェックリスト)」にもとづき確認を行う。

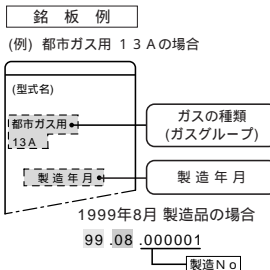
お願い

この機器は一般家庭用です。業務用(飲食店など)に使用すると、機器の寿命が極端に短くなり、保証期間内でも保証の対象となりません。

1. 設置前の注意

警告

- ガス種の確認**
機器本体右側に貼ってある銘板に表示してあるガス種(ガスグループ)と、使用するガス種(ガスグループ)が適合していることを確認する。
火災・不完全燃焼・爆発点火のおそれや、機器が故障する原因にもなります。
- 用途について**
この機器は屋内設置形のため、屋外には絶対設置しない。
雨水が侵入したり、炎が風にあおられて機器の故障や火災の原因となります。
給湯ホースの接続は、絶対にしない。
やけどのおそれや機器の故障の原因になります。



注意

- 水圧が十分あるか確認する**
この機器に必要な給水圧力は34.3kPa(0.35kgf/cm²)以上ですが、安全にまた快適に使用するには、49.1kPa~68.7kPa(0.5kgf/cm²~7kgf/cm²)の水圧が好ましい条件です。これより水圧が低い状態で水温が高いときは高温のお湯となり、お客様がやけどをするおそれがあります。

2. 設置場所の確認

これからの内容は、安全に設置・使用していただくための重要な内容です。

警告

- 設置場所の換気設備について次のことを必ずお守りください。

項目	確認事項	説明図
換気設備	必ず換気(給気・排気)が十分出来るところに設置するか、給気口を設けて換気扇を取り付け、給排気が完全に行われるようにする。 ガス機器は完全燃焼させるために新鮮な空気(酸素)を多量に必要とします。 この機器は換気扇連動装置(別売部品)と接続することをおすすめします。 不完全燃焼による一酸化炭素中毒のおそれがあります。	 換気扇 給気口
	換気扇の風量は同時に使用される機器の合計ガス消費量1.16kW(1000kcal/h)当たり43.2m ³ /h必要です。 換気扇の大きさは右表を参考にしてください。	換気扇の羽径 (mm) 機器合計ガス消費量 [kW (kcal/h)] 15 12.2 (10800) 以下 20 16.3 (14000) 以下 25 24.4 (21000) 以下
	排気口の大きさは有効開口面積でガス消費量1.16kW(1000kcal/h)当たり10cm ² 以上必要です。 (実情に応じて窓、ドアのすきまを給気) (開口面積としてカウントしてもよい)。 右表を参考にしてください。 パッキン付きのもので、施錠時にクレセントなどで締め付ける方式のものは含まない。	給気口のの種類 開口率(%) 有効面積 9cm ² 以上 プラスチックガラスパネルガラリ 50 198cm ² 以上 木製ガラリ 40 248cm ² 以上 パンチングパネル 30 330cm ² 以上 ドア・窓等の種類 周長及び合わせ目1m当たりの有効開口面積 アルミサッシ窓及びドア 20cm ² 網製ドア 10cm ² 木製ドア 20cm ² 木製窓 5cm ²

4 設置工事説明編 (工事をされる方のために)

設置工事説明編 工事をされる方のために

△注意

●設置場所の機器本体の周囲について次のことを必ずお守りください。

項目	確認事項	説明図
機器の周囲	<p>●機器本体の設置については、各地の条例に基づいて設置工事を行う。</p> <p>●防火上の離隔距離として機器周辺は可燃物から側方45mm以上、後方10mm以上、また上方150mm以上離す。</p> <p>●機器の周囲には、防火上のスペースのほかに保守点検ができるよう十分なスペースを確保する。 (保守点検スペースは、前方600mm以上、側方200mm以上としてください。)</p> <p>火災のおそれや、点検修理に支障をきたします。</p>	<p>()内は不燃材で有効に仕上げた部分または防熱板を取り付けた場合の寸法です。</p>
本体	<p>●カーテンや網戸などの燃えやすいものそばには設置しない。</p> <p>●ガソリン・ベンジン・接着剤などの引火性危険物を保管したり扱う場所には設置しない。</p> <p>●棚の下など落下物の危険のあるところには設置しない。火災のおそれがあります。</p>	
周囲のふん	<p>●浴室への設置は絶対にしない。 一酸化炭素中毒のおそれや機器の故障の原因になります。</p> <p>●コンロ・レンジなどの直上など、燃焼排ガスの上昇する位置に有効な防護措置なしに設置しない。</p> <p>●強い風の当たるところには設置しない。</p> <p>●冷暖房装置の吹き出し口近くには設置しない。</p> <p>●特殊薬品(パーマ液・アンモニア・イオウ・塩素・エチレン化合物・酸類など)を使用する室内に機器を設置しない。</p> <p>●照明器具など耐熱性の低い樹脂製品の付近には設置しない。 不完全燃焼や機器の故障の原因になったり、照明器具などが変形・変色することがあります。</p>	
周囲の気		

3. 同こん部品の確認

同こん部品は下記の部品が入っています。取り付け前に確認してください。設置には必ずこの部品を使用してください。

部品名	形状	個数	部品名	形状	個数
取扱説明書 (設置工事説明編) 保証書 お問い合わせ先一覧表		各1部	乾電池		2
			木ネジ		3
			過圧逃し弁 排水用チューブ 止め輪		各1

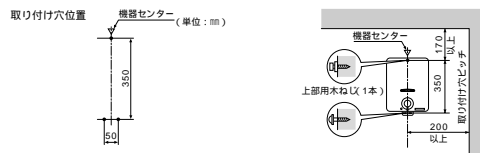
4. 機器の設置とガス・給水・湯出口管接続

△注意

- 機器を設置する際に、衝撃を加えたり・落下させたりしない。機器内部の部品が破損し、ガス漏れなどの原因になります。
- 機器を設置する壁には、約5.7kgの重量が加わりますので、十分な強度がない場合補強工事する。設置後、機器が落下するおそれがあります。

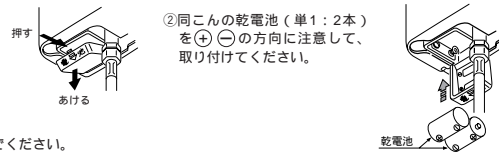
4-1. 機器の設置

- 取付壁面に十分な強度がない場合は補強工事をしてください。(機器の重量は約5.7kgです。)
 - 機器の点火確認窓の位置が目の高さになるくらいの高さに取り付けたら、点火・消火を確認しやすく便利だ。
- ①天井より170mm以上、戸棚や壁などより200mm以上離れた位置に上部用の木ねじ(1本)をいっぱいねじ込んでください。
[上部用(1本)、下部用(2本)の木ねじがありますので注意してください。]
 - ②ねじ込んだ上部用の木ねじに機器の上部穴を引っ掛けてください。
 - ③機器をまっすぐにしてから、取付足の下部穴(2か所)を下部用木ねじ(2本)でしっかりと固定してください。機器の側面給気口は燃焼に必要な空気の入入口ですから絶対にふさがらないでください。



4-2. 同こん部品の取り付け (同こん部品の乾電池の取り付け)

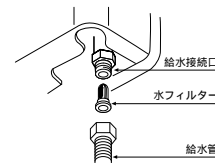
- ①本体左下の乾電池ケースふたを押し下げて開けてください。
- ②同こんの乾電池(単1: 2本)を⊕ ⊖の方向に注意して、取り付けてください。



お願い
●通水したままで乾電池を入れしないでください。

4-3. 給水配管工事

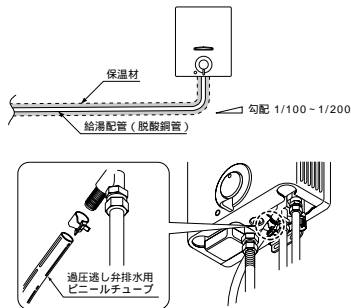
- 給水配管工事は水道事業者の指定工事店に依頼して水道事業者の指定に従ってください。
 - 配管材料は必ず関係水道局の承認あるいは検査に合格したものを使用してください。
 - 接続の注意
- ①給水接続する前に水を通して配管内のゴミなどを流してください。
 - ②給水接続径はG1/2(15A)です。
 - ③機器の近くで操作の容易な給水配管中に逆止弁と給水栓を取り付けるか、逆止効果のある給水栓を取り付けてください。
給水接続口と逆止弁との間の配管には塩ビ管を絶対使用しないでください。
 - ④水フィルターは接続パッキンを兼用していますので、他のパッキンは使用しないでください。
 - ⑤機器の通水テストを行い水漏れの無いことを確認し、給水栓をしめて、給水管をはずし、水フィルターを取り出し清掃してください。
 - ⑥給水管を接続する前に給水接続口に水フィルターがはめ込まれていることを必ず確認してください。



4 設置工事説明編(工事をされる方のために)

4-4. 給湯配管工事

- 配管材料は脱酸銅管を使用してください。
- 配管の注意
 - ①熱および水圧がかかりますので、鉛管や塩化ビニル管は絶対に使用しないでください
 - ②配管長さが長くなったり、曲がり数が多くなったりするとその分だけ必要水圧が高くなりますので、事前に十分検討してください。
 - ③お湯が配管中を流れるとき多少温度が下がりますので、配管には保温材を巻いてください。
 - ④配管は空気だまりができないように配管し、また水抜きが容易にできるように1/100～1/200の勾配をつけてください。
 - ⑤同こんの過圧逃し弁排水用ビニルチューブと止め輪を右図のように取り付け、先端を排水口へ接続してください。

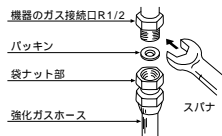


4-5. ガス配管工事

- ガス接続口はR 1/2です。強化ガスホース、金属管、金属可とう管で接続してください。15A (R 1/2) で配管してください。
- 強化ガスホース接続
 - ①ガス接続口の六角部にスパナをかけ、強化ガスホースの袋ナット部にパッキンをいれてください。
 - ②ガス接続口に強化ガスホースの袋ナット部を締め付けてください。
 (注)強化ガスホースの曲げ半径は90mm以上としてください。
 (注)袋ナットを締め付けるとき、強化ガスホースがねじれないようにしてください。

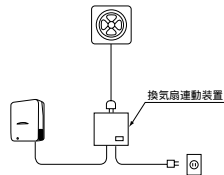
・金属管、強化ガスホースなどを取り付けるときは、機器の破損防止のため、機器のガス接続口の六角部にスパナを差し込んで、取り付けてください。

・ガス配管工事が終わりましたら、必ずガス漏れの確認をしてください。



4-6. 換気扇連動装置 (別売部品) について

- 室内の換気をより確実にするために、換気扇連動装置の接続をおすすめします。
- 換気扇連動装置を接続すると、機器の通水に連動して、換気扇が自動的に作動・停止します。
- 換気扇連動装置は別売部品となっています。また、換気扇連動装置を接続するときは、換気扇連動中継コード(別売部品)が必要です。お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに相談してください。
- 換気扇連動装置の取り付け方法は別売部品に同梱されている取付説明書を参照してください。



設置工事後の点検

設置工事が終わりましたら、試運転の前にもう一度、機器まわりの工事について点検を行い、下記チェックリストにもとづき確認してください。

●チェックリスト

点検項目	点検内容	参照ページ	チェック
機器及びその周辺	ガス種	銘板表示は使用するガスに適合していますか。	18
	可燃材料との離隔距離	可燃材との離隔距離、火災予防上の処置は十分ですか。	19
	設置条件	障害物、窓などとの離隔距離は十分ですか。	19
	保守・管理上の空間	点検・修理に必要な空間はありますか。	19
	安定設置	機器は安定に設置され、ガタツキ、ねじのゆるみなどはありませんか。	20
給排気	換気扇は取り付けられていますか。	18	
	十分給気できる場所に設置されていますか。	18	
給水・給湯配管	給水栓は取り付けられていますか。	20	
	配管接続部からの水漏れはありませんか。	20・21	
	給水栓、給湯栓を開けて水が出ることを確認しましたか。	21	
ガス接続工事	水フィルターにゴミなどが詰まっていますか。	20	
	接続は正しく施工され、ガス漏れはありませんか。	21	

試運転

⚠警告

- 試運転を始める前に、誤配管をしていないか確認する。特に、ガス接続口に給水を接続していないか注意する。万一ガス接続口に通水した場合は機器は使用できません。機器を交換するか、修理依頼してください。そのまま使用すると、ガス漏れなどの重大事故となり危険です。

⚠注意

- 試運転後長期間使用しないときや機器が凍結する恐れのあるときは、11ページ「凍結予防のしかた」にもとづいて機器の水抜きを行う。

お願い

- 取扱説明書にもとづき、試運転を行ってください。
- 通水後、給水栓を閉め給水接続口にある水フィルターを取り外し、水フィルター部についたゴミなどを水で洗い流してください。清掃後、水フィルターを取り付けるときは、元通りにねじ込んで取り付けてください。[20ページ参照]

お客様への取り扱い説明

⚠警告

- 設置工事完了後は取扱説明書に従い、使用上の注意事項、正しい使用方法をお客様に説明する。誤った使用をされた場合、重大な事故の原因になります。

- 保証書に必要事項(販売店名・施工日など)を記入の上、お客様に保管のお願いをしてください。
- この取扱説明書(設置工事説明編)および保証書を必ずお客様にお渡しくたさい。手渡できないときは、ビニール袋ごと機器付近などの目につきやすい位置においてください。